

令和4年度「絵画(2年)」シラバス

学年	学科・コース等	教科	科目	単位数	履修形態
2年	美術科	美術	絵画	2	必修
教科書	WARM UP!				
副教材					

学習の目的

- 1 絵画の学習を通して造形的な見方・考え方を働かせる。
- 2 美的体験を豊かにし、感性を磨き、表現と鑑賞に関する資質・能力を高める。
- 3 絵画表現の可能性を追求する態度を養う。

学習の目標

I 知識・技能	絵画に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深めるとともに、独創的・創造的に表すことができるようになる。
C 思考・判断・表現	絵画に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ、創造的な思考・判断・表現ができるようになる。
E 学びに向かう力・人間性等	主体的に絵画に関する専門的な学習に取り組み、感性を磨き、絵画表現を追求する態度を養う。

つきたい力	課題発見能力。発想や構想の能力。制作を通して主題を追究する姿勢。絵画的表現力。既存のものを組み合わせて創り出す力。プレゼンテーション力。
--------------	--

評価方法	I	C	E
◇ 制作途中に作品やエスキース、制作意図を評価します。(実物、GoogleClassroomの課題)	○	○	
◇ 作品完成後は作品をプレゼンテーションしたり、互いに講評し合い、自身の思考の広がり、深まりを評価します。	○	○	○
◇ 題材に応じた観点で、完成作品や振り返りの記録(ワークシート等)を評価します。	○	○	○
◇			
◇			

履修上の注意および学習のアドバイス等

- ◇ 作品制作に必要な画材の準備、情報の取材は自主的に取り組むよう心がけましょう。
- ◇ 提出物は「授業の成果」になります。期限を守り、必ず提出してください。
- ◇ 制作はI・C・Eを相互に関連させ深めていく活動です。画材や技法への探究心を持って取り組んでいきましょう。
- ◇ 鑑賞では作品の良さや美しさを感じ取り、作者の個性や美術文化の良さ感受する姿勢を持って臨みましょう。
- ◇ 自分の考えを深めたり、伝えたりする活動の際は「絵」と「文字」を使って表現します。

年間指導計画

学期	月	学習内容	学習のねらい・目標	考査	思考を深める問い (C・E)	I: 知識理解	C: 思考判断表現	E: 学びに向かう力・人間性
第1学期	4	水彩画 く 風景画～ ～屋外で描く	(I) 関する専門的で幅広く多様な内容につ自画像や風景画について理解を深めるとともに、創造的に表すことができるようになる。 (C) 自画像や風景画に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ、創造的な思考・判断・表現ができるようになる。 (E) 主体的に絵画に関する専門的な学習に取り組み、感性を磨き、美術文化の継承、発展、創造に寄与する態度を養う。		自分が感じ取った美しさや主題が伝わるためには、どんな工夫ができますか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	5							
	6	日本画 ～ ～夏を描く	(I) 日本画に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深めるとともに、独創的・創造的に表すことができるようになる。 (C) 日本画に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ、創造的な思考・判断・表現ができるようになる。 (E) 主体的に日本画に関する専門的な学習に取り組み、感性を磨き、美術文化の継承、発展、創造に寄与する態度を養う。		自分の主題にあった絵の具の「表情」を追究してみよう。 日本画家の作品に見られる絵の具の扱い、そこから感じられる印象は？	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	7							
第2学期	9	自己の世界を広げる 自分の主題にあった画材を選択し、絵画制作に挑む	(I) 自分が選択した表現に関する専門的で幅広い内容について理解を深めるとともに、独創的・創造的に表すことができるようになる。 (C) 絵画に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ、創造的な思考・判断・表現ができるようになる。 (E) 主体的に絵画に関する専門的な学習に取り組み、感性を磨き、美術文化の継承、発展、創造に寄与する態度を養う。		画材の特性を生かし、主題を追究してみよう。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	10							
	11	油彩画・水彩画 描く～ ～人物を描く	(I) 油彩・水彩画に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深めるとともに、独創的・創造的に表すことができるようになる。 (C) 油彩・水彩画に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ、創造的な思考・判断・表現ができるようになる。 (E) 主体的に絵画に関する専門的な学習に取り組み、感性を磨き、美術文化の継承、発展、創造に寄与する態度を養う。		自分が感じ取った美しさや主題が伝わるためには、どんな工夫ができますか	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	12							
第3学期	1	油彩画・水彩画 描く～ ～静物を描く	(I) 油彩・水彩画に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深めるとともに、独創的・創造的に表すことができるようになる。 (C) 油彩・水彩画に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ、創造的な思考・判断・表現ができるようになる。 (E) 主体的に絵画に関する専門的な学習に取り組み、感性を磨き、美術文化の継承、発展、創造に寄与する態度を養う。		なぜ、そのモチーフを選んだのか？ なぜその構図なのか？	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	2							
	3							

※行事等で変更になる場合があります。